

# 2022年8月期全塾協議会定例会議事録

2023年8月12日

全塾協議会

全塾協議会規約 第22条第1項に基づき、2022年8月29日に開催された全塾協議会定例会の議事録を公開する。ただし、役職役名ならびに条数は議会当時のものである。

## 議事概要記録

名称	2022年8月期全塾協議会定例会
場所	対面（湘南藤沢キャンパス t11）・オンライン（Webex）併用
日時	2022年8月29日 11:00～15:00

### 出席者

	塾生代表	山田健太
文化団体連盟	文化団体連盟三田本部常任委員会 委員長 代理	関義暉
体育会本部	体育会本部 主幹 代理	田村秀章
全国慶應学生会連盟	全国慶應学生会連盟常任委員会 委員長	東條克哉
全塾ゼミナール委員会	全塾ゼミナール委員会 委員長	三河創太
四谷自治会	四谷自治会 会長	藤村悠哉
芝学友会	芝学友会 会長	横山さくら
福利厚生機関	福利厚生機関本部 代表	松尾和真
	全塾協議会事務局 事務局長	後藤美汐
	全塾協議会事務局より他6名	
以下議案提出者	法学部法律学科ゼミナール委員会 新財務	岩崎翔五
	K-Project 新学生代表	太田有希乃
	商学部ゼミナール委員会 新委員長	高木聡一
	全塾ゼミナール委員会 財務	栗原歩美
	卒業アルバム委員会 財務	岩切晴菜
	矢上祭実行委員会 財務	溝川結衣
	湘南学祭実行委員会 財務	小西海晟
	芝学友会 財務	片岡奈緒
	湘南自治会 財務	古舘凜太郎
	應援指導部 旧財務	江下葵
	應援指導部 新財務	根本泰成
	應援指導部 三将・応援企画責任者	乃坂龍誠
	應援指導部 三将	齋藤英里伽
	應援指導部 会計	中島由菜

## 次第

項目	担当・議案提出者
1. 開会宣言	事務局長 後藤美汐
2. 塾生代表挨拶	塾生代表 山田健太
3. 定足数確認	議事部長 大澤治香
4. 配布資料の確認	
5. 議事録作成報告	
6. 議長の指名	
7. 議事	
(1) 塾生代表報告 [20220829-01-JSD]	塾生代表 山田健太
(2) 事務局報告 [20220829-02-JMK]	
i. 総務政策部報告	事務局長 後藤美汐
ii. 財務部報告	
iii. 議事部報告	
iv. 広報部報告	
v. 局長報告	
(3) 法学部法律学科ゼミナール委員会の交代報告 [20220829-03-HHZ]	法学部法律学科ゼミナール委員会 新財務 岩崎翔五
(4) K-Project の交代報告 [20220829-04-KPR]	K-Project 新学生代表 太田有希乃
(5) 商学部ゼミナール委員会の交代報告 [20220829-05-SGZ]	商学部ゼミナール委員会 新委員長 高木聡一
(6) 商学部ゼミナール委員会の独自財源特別支出承認申請 [20220829-06-SGZ]	商学部ゼミナール委員会 新委員長 高木聡一
(7) 全塾ゼミナール委員会の独自財源特別支出承認申請 [20220829-07-ZZI]	全塾ゼミナール委員会 財務 栗原歩美
(8) 卒業アルバム委員会の独自財源特別支出承認申請 [20220829-08-SAI]	卒業アルバム委員会 財務 岩切晴菜
(9) 矢上祭実行委員会の独自財源特別支出承認申請 [20220829-09-YGM]	矢上祭実行委員会 財務 溝川結衣
(10) 湘南学祭実行委員会の独自財源特別支出承認申請 [20220829-10-SNG]	湘南学祭実行委員会 財務 小西海晟
(11) 芝学友会の独自財源特別支出承認申請 [20220829-11-SGK]	芝学友会 財務 片岡奈緒

項目	担当・議案提出者
(12) 湘南自治会の交付金特別支出承認申請 [20220829-12-SJK]	湘南自治会 財務 古舘凜太郎
(13) 應援指導部の交代報告 [20220829-13-OES]	應援指導部 旧定演会計 江下葵 新定演会計 根本泰成
(14) 應援指導部の活動報告 [20220829-14-OES]	應援指導部 三将・応援企画責任者 乃坂龍誠 三将 齋藤英里伽
(15) 應援指導部の独自財源特別支出承認申請 [20220829-15-OES]	應援指導部 会計 中島由茉
(16) 應援指導部の交付金特別支出承認申請 [20220829-16-OES]	應援指導部 会計 中島由茉
(17) 塾生代表の所属団体に関する議案 [20220829-17-JSD]	塾生代表 山田健太
(18) 塾生代表の緊急執行に関する議案 [20220829-18-JSD]	塾生代表 山田健太
(19) 塾生代表の緊急執行に関する議案 [20220829-19-JSD]	塾生代表 山田健太
(20) 塾生代表のコミュニケーションツール Slack の導入に関する議案 [20220829-20-JSD]	塾生代表 山田健太
(21) 塾生代表の交代関連手続きの基本方針に関する議案 [20220829-21-JSD]	塾生代表 山田健太
(22) 塾生代表の全塾協議会規約ならびに諸規則改正に向けた基本方針に関する議案 [20220829-22-JSD]	塾生代表 山田健太
(23) 塾生代表の全塾協議会定例会の日程の固定に関する議案 [20220829-23-JSD]	塾生代表 山田健太
連絡事項	
閉会宣言	事務局長 後藤美汐

## 議決事項

議案識別子	提出者	議案名	可否
20220829-01-JSD	塾生代表	業務報告	採決なし
20220829-02-JMK	全塾協議会事務局	業務報告	採決なし
20220829-03-HHZ	法学部法律学科ゼミナール委員会	交代報告	採決なし
20220829-04-KPR	K-Project	交代報告	採決なし
20220829-05-SGZ	商学部ゼミナール委員会	交代報告	採決なし
20220829-06-SGZ	商学部ゼミナール委員会	独自財源特別支出承認申請	可決
20220829-07-ZZI	全塾ゼミナール委員会	独自財源特別支出承認申請	可決（修正）
20220829-08-SAI	卒業アルバム委員会	独自財源特別支出承認申請	可決
20220829-09-YGM	矢上祭実行委員会	独自財源特別支出承認申請	可決（修正）
20220829-10-SNG	湘南学祭実行委員会	独自財源特別支出承認申請	可決（修正）
20220829-11-SGK	芝学友会	独自財源特別支出承認申請	可決（修正）
20220829-12-SJK	湘南自治会	交付金特別支出承認申請	取り下げ
20220829-13-OES	應援指導部	交代報告	採決なし
20220829-14-OES	應援指導部	活動報告	採決なし
20220829-15-OES	應援指導部	独自財源特別支出承認申請	可決（修正）
20220829-16-OES	應援指導部	交付金特別支出承認申請	可決
20220829-17-JSD	塾生代表	所属団体に関する議案	採決なし
20220829-18-JSD	塾生代表	緊急執行に関する議案	可決
20220829-19-JSD	塾生代表	緊急執行に関する議案	取り下げ
20220829-20-JSD	塾生代表	コミュニケーションツール Slack の導入に関する議案	可決
20220829-21-JSD	塾生代表	交代関連手続きの基本方針に 関する議案	可決
20220829-22-JSD	塾生代表	全塾協議会規約ならびに諸規則 改正に向けた基本方針に関する 議案	可決
20220829-23-JSD	塾生代表	全塾協議会定例会の日程の固定 に関する議案	採決なし

2023年8月12日 議事録作成

全塾協議会事務局 事務局  
長

後藤美汐

(署名)

全塾協議会規約第22条に基づき、事務局長の署名  
は省略する。

この議事録が正確であることを証する。

塾生代表

山田健太

(署名)

山田 健太

(署名)

全塾協議会 議長

藤村悠哉

藤村 悠哉

## 議事詳細記録

### 1. 開会宣言

事務局長 後藤美汐が開会を宣言した。

### 2. 塾生代表挨拶

塾生代表 山田健太が挨拶を行った。

### 3. 定足数確認

議事部長 大澤治香による点呼により、定足数を満たしたことが発表され、本会の成立が確認された。

### 4. 配布資料の確認

議事部長 大澤治香が、既に配布された資料の確認を行った。

### 5. 議事録作成報告

議事部長 大澤治香は、新入局員に向けてこれまで作成できていなかった議事録の作成を割り振ったと述べた。議事録は9月31日までに完成を目指すとした。

### 6. 議長の指名

議事部長 大澤治香は、全塾協議会規約 第10条に基づき議長の選任方法を諮ったところ、満場一致で四谷自治会会長 藤村悠哉が議長に選任された

### 7. 議事

#### (1) 塾生代表からの業務報告

リーダーズキャンプに向けた予算折衝を行った。予算案作成に際して補助を行った。交付金の額面を作成した。その他承認業務を行った。

#### (2) 事務局からの業務報告

##### i. 総務政策部報告

各種面談へ出席した。性暴力ワークショップの調整を行った。事務局内資料の整理及び作成を行った。特別委員会への人員拠出を行った。

#### ii. 財務部報告

予算折衝を実施した。各種予算書類を回収した。リーダーズキャンプに向けた準備を行った。各種メール対応を行った。特別支出許可番号を発行した。

#### iii. 議事部報告

定例会の準備及び運営を行った。決議書や登記書類など書類関連の回収及び管理を行った。代交代や議案提出関連のメール対応を行った。リーダーズキャンプ参加団体のタイムテーブルおよび事務局員のシフト表を作成した。リーダーズキャンプ時に回収する各団体の未提出書類をまとめた。登記書類の Google Form を作成した。事務局長の後藤美汐は、作成した Google Form について来月期に議案として提出するため、議会前に確認するよう議員に求めた。

#### iv. 広報部報告

議会の情報を掲載した。HP を更新した。

#### v. 事務局長報告

最終監査およびそのチェックを行った。

### (3) 法学部法律学科ゼミナール委員会の代交代報告

法学部法律学科ゼミナール委員会より代交代報告が上程され、新代表に長谷川万裕、新財務に岩崎翔五が就任した。岩崎は「誠心誠意やらせていただきます」と述べた。

### (4) K-Project の代交代報告

K-Project より代交代報告が上程され、新学生代表に太田有希乃が就任した。太田は「より多くの人に知ってもらうために尽くしていきたい」と述べた。

### (5) 商学部ゼミナール委員会の代交代報告

商学部ゼミナール委員会より代交代報告が上程され、新委員長に高木聡一が就任した。高木は「14人で1年間頑張っていきたいと考えています」と述べた。

### (6) 商学部ゼミナール委員会の独自財源特別支出承認申請

商学部ゼミナール委員会より独自財源特別支出承認申請が上程された。

	許可金額	申請時期	品名	支出理由	支出時期
1	¥ 60,000	事後	景品代	商学部ゼミナール委員会バレーボール大会運営における1位から3位の研究会に贈呈する景品代	2022年7月前半

商学部ゼミナール委員会委員長 高木聡一は、後日の申請になってしまい申し訳ない、今後はないように努めていきたいと述べた。議案資料に対して事務局長 後藤美汐は、申請が事前のものか事後のものかは表の上に記入するよう求めた。また後藤から算定根拠とグルメカードの購入目的について質問があがった。それに対して高木は、額については前年度のものを参考にし、グルメカードはバレーボール大会の商品として贈答するためだと回答した。

全塾協議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表 山田健太は本決議を承認した。その際山田は、今後ないように気を付けてほしいと述べた。

### (7) 全塾ゼミナール委員会の独自財源特別支出承認申請

全塾ゼミナール委員会より独自財源特別支出承認申請が上程された。

	許可金額	申請時期	品名	支出理由	支出時期
1	¥1,760	事前	電車代 ・バス代	リーダーズキャンプに向かうための交通費 2 名分	2022 年度 9 月初旬

全塾ゼミナール委員会財務 栗原歩美は、これは全塾ゼミナール委員会委員長 三河創太が定例会に参加するにあたっての交通費であり、往路は事後申請で復路は事前申請となっていると述べた。また、昨年度は定期を利用してため申請はなかったと述べた。議案資料に対して事務局長 後藤美汐は、事前申請と事後申請を分けて記載するよう求めた。さらに、交通経路について秋葉原駅までは定期を持っているかという質問があがった。それに対して三河は、その通りだと回答した。それに対して後藤は、それであれば最安値の経路になっているので問題ないと述べた。

塾生代表 山田健太は、リーダーズキャンプに関しては団体の今後にかかわるため交通費を支給するのは構わないが、定例会に関しても各団体が支給していると膨大な額になると述べた。そこで山田は、各議員に意見を求めた。それに対して三河は、所属団体側から議会に参加すること自体にメリットがあるので、特別支出として交通費を支出してよいと考えたと述べた。それに対して山田は、それが福利厚生となっておりかつ現実的な額面であるかが重要だと述べた。独自財源からの支出だからよいと認めると、事務局員の交通費まで支出することになった際に手に負えなくなってしまうと説明した。その支出が想定しえないのであれば交通費の支出はやむを得ないと解釈できるが、議会は想定しうる範囲のため交通費が発生することは予想できるはずだと述べた。これに対して芝学友会会長 横山さくらは、定例会は毎月のことだからという理由で交通費を申請しない方針であると述べた。また、毎月の定例会の開催地が固定されていたら話が変わってくることを示唆した。ここで体育会本部主幹代理 田村秀章から、独自財源というのは全塾協議会からの手当てだという認識で間違いないかと質問があがった。それに対して山田は、全塾協議会からの手当てに当たるのは交付金であり、独自財源はそうではないと回答した。それに対して田村は、弊団体としては場所が遠いということである程度交通費が発生したが、定期を所有している人のことも考える必要があると述べた。ここで全国慶應学生会連盟常任委員会委員長 東條克哉から、塾生代表の資金の出どころは何なのかという質問があがった。これに対して山田は、事務局付で支出するか、予算委員会を構成して財源を作ると回答した。それに対して東條は、弊団体としての支出をする予定はないが、独自財源からの支出なら問題ないのではないかと述べた。ここで福利厚生機関本部代表 松尾和真は、平等性は疑われるものの独自財源からの支出であれば許可してもよいと述べた。文化団体連

盟三田本部常任委員会委員長代理 関義暉は、独自財源からの支出は認めてもよいと述べ、また定額制とすることを提案した。四谷自治会会長 藤村悠哉は、定例会の開催場所が毎回湘南藤沢キャンパスだということもないので、定例会のための交通費の支出は必要ないが、独自財源からなら支出を認めてもよいのではないかと述べた。そこで山田は、極めて高い負担をどのように回避するかが重要だと述べ、関の提案である定額制の導入と、所属キャンパスによる優劣の発生を防止するための複数のキャンパスでの定例会の開催に意欲を示した。また、独自財源からの支出については、それによってほかの支出が交付金に回る可能性があるため不自然であると述べた。さらに、全塾ゼミナール委員会は交付金を受け取っていないという点を考慮して、今回は承認してもよいかもしれないと追加した。それに対して三河は、現段階で定額制の金額設定は不可能なため、この額面で承認できるかどうかを決めてほしいと述べた。ここで横山は、定例会は毎月のことであり開催キャンパスも毎回変更されるなら支出の必要はないと述べた。また、リーダーズキャンプに関しては支出を認めてもよく、現時点での全額負担は考えにくいだろうと追加した。

ここで栗原から、リーダーズキャンプ用の交通費を事後申請として提出しても却下されることはないかという質問があがった。これに対して山田は、それはそのときの状況によると回答した。

山田はまず正式な決ではなく、議案資料の修正を判断する議決を取るとした。交通費支出に賛成する議員は3人、反対は3人（全塾ゼミナール委員会を除く）であった。また全塾協議会はリーダーズキャンプの交通費支出については全会一致で賛成であった。

全塾協議会はこの議案の1番を取り下げ、2番を承認することについて、全会一致で可決し、塾生代表山田健太はこれを承認した。

## (8) 卒業アルバム委員会の独自財源特別支出承認申請

卒業アルバム委員会より独自財源特別支出承認申請が上程された。

	許可金額	申請時期	品名	支出理由	支出時期
1	¥3,088	事前	交通費	2022年度第73回サッカー早慶戦取材のため	2022/9/10
2	¥1,800	事前	飲食費	2022年度第73回サッカー早慶戦取材のため	2022/9/10

卒業アルバム委員会財務 岩切晴菜はまず、事後申請を防ぐ方法について2つ提示した。1つ目は財務局長だけでなく、総務局長や編集局長からも呼びかけを行い、強化するという方法である。2つ目は、2回連続の事後申請は原則認めないこととし、特例は財務が承認したもののみにするという方法である。また今回の支出については、サッカー早慶戦の交通費と飲食費であり、飲食費については1人当たり600円の支出していると説明した。

議案資料に対して事務局長 後藤美汐から、委員3の新宿駅以降の交通費が最安値になっていないのはなぜかという質問があがった。それに対して岩切は、特別な理由はないと回答した。そこで後藤は、今後は特別な事情がない限り最安値での申請をしてほしいと卒業アルバム委員会に求めた。塾生代表 山田健太は、事後申請を防ぐ方法についてその対処に感謝の意を表した。また山田は飲食費について、600円という額は内規で定めているものなので問題はないが、意識としては最大600円は支出できるが可能な限り削減してほしいと卒業アルバム委員会に求めた。交通費については、今回はそのまま承認するが、事前に財務で交通経路についてしっかり確認をすることと、委員3の方には申請通りのルートを利用できる



というわけではないと伝えることを卒業アルバム委員会に求めた。

全塾協議会はこれらを全会一致で可決し、塾生代表 山田健太は本決議を承認した。

#### (9) 矢上祭実行委員会の独自財源特別支出承認申請

矢上祭実行委員会より独自財源特別支出承認申請が上程された。

	許可金額	申請時期	品名	支出理由	支出時期
1	¥39,600	事前	レンタカー代	機材運搬のため	2022年9月下旬
2	¥11,560	事前	ガソリン代	機材運搬のため	2022年9月下旬
3	¥70,500	事前	賞品代	企画参加者への景品	2022年9月下旬
4	¥28,000	事前	お菓子・飲み物類	企画参加研究室へのお礼	2022年9月下旬
5	¥49,000	事前	お菓子類	子供向け景品	2022年9月下旬
6	¥42,100	事前	弁当代	有名人・協力業者用弁当代	2022年9月下旬
7	¥3,240	事前	お菓子類	ステージ有名人への差し入れ	2022年9月下旬
8	¥5,724	事前	お菓子類	室内有名人への差し入れ	2022年9月下旬
9	¥2,500	事前	酒類	花火業者への贈答品	2022年9月下旬
10	¥384,780	事前	弁当代	委員用弁当・飲料代	2022年9月下旬

矢上祭実行委員会財務 溝川結衣は議案資料について、レンタカー代の部分の曜日が金曜日ではなく木曜日であることと、各企画の景品としての Amazon ギフト券の代金が 75,000 円に減額になっていることを説明した。また各支出の詳細について、レンタカー代はロボットコンテスト企画用の機材の運搬に使用し、ガソリン代は最大値での額面になっている点、研究室の参加お礼は 14 研究室に各研究室当たり 2,000 円分の菓子類を購入予定である点、花火の打ち上げ業者へのお礼として 2,000 円台のワインを贈る予定である点を補足した。

議案資料に対して事務局長 後藤美汐は、弁当代を算出根拠を基に計算すると申請額と異なっている点を指摘した。これに対して溝川は、これは誤りであり、正しい申請額を 42,100 円に修正すると回答した。また後藤から、集客見込みが 1,500 人である根拠についての質問があがった。これに対して溝川は、両日合わせて約 8,000 人の来場者がいるうちの一定数であると回答した。塾生代表 山田健太は、事前申請のレンタカーのガソリン代の燃費が悪すぎる点を指摘した。これに対して溝川は、財務で検証は行っておらず、調査が足りなかったと弁明した。これに対して山田は、所属人数が 300 人を超える矢上祭実行委員会にはさまざまな人がいるので、言われたことは鵜呑みにするのではなく確認を徹底してほしいと矢上祭実行委員会に求めた。

また山田から、贈答品の Amazon ギフト券の金額設定について質問があがった。これに対して溝川は、アカベラ企画はチームでの参加である点を考慮して 1 人当たり 3,000 円とそこまで大きな額にはなっていない、ロボットコンテスト企画は参加費を徴収している点を考慮して額面は少し大きくなっていると回答した。さらに山田から、Amazon ギフト券を景品としているのはなぜかという質問があがった。これに対して溝川は、慣例に倣っていると回答した。これに対して山田は、今から景品の変更を指示するわけではないが、Amazon ギフト券はその性質上現金とほとんど差異がないため、贈答品としての適切性が疑

われると述べた。それに対して溝川は、担当者と検討していくと述べた。さらに山田から、弁当代はものによって変えているのかという質問があがった。これに対して溝川は、有名人のものは少し高めに設定していると回答した。これに対して山田は、ある程度は構わないがもう少し安くてもいいのではないかという点と、有名人規格に関してはさまざまな意見があるため、今後も同じものが通るとは思わないでほしいという点を指摘した。

全塾協議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表 山田健太は本決議を承認した。

#### (10) 湘南学祭実行委員会の独自財源特別支出承認申請

湘南学祭実行委員会より独自財源特別支出承認申請が上程された。

	許可金額	申請時期	品名	支出理由	支出時期
1	¥1,210	事前	梱包材費	フォトコンテストの景品を郵送する際の梱包材費用	2022年9月前半
2	¥18,249	事前	Adobe 解約費	Adobe アカウントの解約費用	2022年8月後半
3	¥2,320	事前	ステッカー作成費	協賛いただいた企業様へお礼としてお渡しするため	2022年8月後半
4	¥230,225	事後	音響機材レンタル費	福利厚生団体の音響工房からレンタルした音響機材費用	2022年8月後半

湘南学祭実行委員会財務 小西海晟は、事後申請として当日借りた音響機材のレンタル費用を独自財源特別支出として追加したいとの旨を示した。これに対して塾生代表 山田健太は、学祭の団体には難しいかもしれないが見積もり段階で実際に契約に移る前に申請を出してほしいと湘南学祭実行委員会に求めた。また山田は、出金伝票の減点はされないが監査報告書への記載がなされることを説明した。さらに山田から、Adobe の解約費用がなぜ発生したかという質問があがった。これに対して小西は、月払いのみの契約よりも年払いの契約のほうが安いことが判明したためだと回答した。これに対して山田は、現状のプランはどうなっているか尋ねた。これに対して小西は、学割適用済みの月払いの年間契約を3アカウント分結んでいると回答した。

ここで事務局長 後藤美汐は、議案提出締切日を超過しているため、今後はそうならないようにしてほしいと湘南学祭実行委員会に求めた。これに対して山田は、議会日程の固定については後ほど議論すると述べた。

山田から、アカウントについてはどのくらい使われたのかという質問があがった。これに対して小西は、少なくとも Illustrator と Premiere Pro、After Effect の3つのアプリは使用されたことを確認しており、7アカウントを利用する人を変えながら利用していたと回答した。これに対して山田は、湘南藤沢キャンパスではメディアセンターで Adobe が利用できるため、契約アカウント数を減らしてほしいと湘南学祭実行委員会に求めた。

ここで後藤から、クラブハウス棟の補償金は特別支出が必要なものなのかという質問があがった。これに対して山田は、時と場合によると回答した。また山田から、今回に関しては予算に項目がないということかという質問があがった。これに対して小西は、項目がないと回答した。これに対して山田は、そもそ

も予算以外の項目について申請する場合は申請してもらった方がいいのではないかと述べた。これに対して後藤から、それは問題ないが特別支出として申請するということかという質問があがった。これに対して山田は、基本方針を別途改めるという対応を取ればいいのではないかと回答した。

全塾協議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表 山田健太は本決議を承認した。

#### (11)芝学友会の独自財源特別支出承認申請

芝学友会より独自財源特別支出承認申請が上程された。

	許可金額	申請時期	品名	支出理由	支出時期
1	¥4,952	事前	電車代	リーダーズキャンプの参加者の交通費	2022年9月前半

芝学友会財務 片岡奈緒は、リーダーズキャンプの日吉開催が決定したため交通費を再申請する点と、議案資料の一番上の交通経路が最安値ではなかったため、申請金額を 538 円から 462 円に修正する点を説明した。また片岡は、芝学友会会長 横山さくらが議員のため 3 日間の申請であり、これが事前申請であることを補足した。

これに対して事務局長 後藤美汐から、全体での申請金額について質問があがった。これに対して片岡は、全体の申請額が 4,952 円になると回答した。

全塾協議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表 山田健太は本決議を承認した。

#### (12)湘南自治会の交付金特別支出承認申請

湘南自治会より交付金特別支出承認申請が上程されたが、特別支出許可が必要でないものであったため、湘南自治会財務 古館凜太郎は本議案を取り下げた。

#### (13)應援指導部の交代報告

應援指導部より交代報告が上程され、新定演会計に根本泰成が就任した。根本は「一年間よろしくお願ひします」と述べた。

#### (14)應援指導部の活動報告

應援指導部より、活動内容が 4 点報告された。1 点目は対面活動の実施であり、感染症対策の下で通常通り練習を行ったと報告された。2 点目は執行部会・定例会・役員会の実施であり、通常通り実施したと報告された。3 点目は各種渉外・応援活動への参加であり、学校や体育会からの依頼に基づき実施したと報告された。4 点目は新たな試みであり、「塾生、慶應義塾を盛り上げる」ために、SNS 各種での投稿やミーティングを行ったと報告された。今後も新たな取り組みについて発信をしていく予定であるとともに、塾生動員企画チームを発足し、実際の試合の動員等に直結する企画を立案していると述べた。

#### (15)應援指導部の独自財源特別支出承認申請

應援指導部より独自財源特別支出承認申請が上程された。

	許可金額	申請時期	品名	支出理由	支出時期
1	¥1,020	事後	電車代	航空部体験搭乗に参加するための交通費	2022年8月9日
2	¥7,100	事後	電車代	六大学対抗グライダー競技会前イベントへの交通費	2022年8月14日
3	¥81,780	事後	電車代	オール信州三田会への交通費	2022年8月27日
4	¥2,720	事後	電車代	航空部開会式への交通費	2022年8月29日
5	¥3,200	事後	お土産代	愛媛オールスターゲームでお世話になる先輩への手土産代	2022年8月26日

應援指導部会計 中島由菜は、事後申請が多くなった理由として、前回の定例会後に活動依頼が増えてしまったためだと説明した。また交通費の1つ目の申請について、行きと帰りの駅が異なっているのは、行きの際に練習後に直接向かったためだと説明した。さらに交通費の3つ目の申請について、三田会からの補助があったため全額の支出が適切だと判断したことを補足した。

事務局長 後藤美汐から、交通費の1つ目の申請について、会場が熊谷だったのかと質問があがった。これに足して中島は肯定した。また後藤から交通費の2つ目の申請について、切符を購入しているのはなぜかと質問があがった。これに対して中島は、切符を使った方が領収書を発行しやすいためだと回答した。それに対して後藤は、ICカードでも領収書を発行することは可能なので、今後はICカードでの交通費の支出を求めた。

塾生代表 山田健太から、交通費の3つ目の申請について、三田会から補助を受けたということは領収書のあて先は三田会になるのではないかと質問があがった。これに対して中島は、三田会の方が一度一括で應援指導部にまとまったお金を振り込んでくれたので、それを後から部員に配るという形だったので領収書の宛先が鉄道会社になったと回答した。また中島は、1人当たり3,000円を三田会が振り込んで、それをどのように活用するかを考えた結果になっていると補足した。これに対して山田は、交通費ではなくお礼代としてもらったお金という認識であっているかと質問した。これに対して中島は肯定した。そこで山田は、お礼代をいただいたときにはどのような対応をとるのかをしっかりと決めておくことを求めた。今回のように本来の交通費支出に関するレギュレーションから外れることは、お礼金をいただいたかどうかにかかわらず適切とはいえないと述べた。そして、今後は交通費に関しては同じ制限下で運用していくことを求めた。

また山田から、贈答費についてその対象は誰だったのかと質問があがった。これに対して應援指導部 齋藤は、愛媛県で開催される東京六大学が集まる試合で應援指導部の部員を接待してくれた、愛媛県知事や大きな会社を営んでいる塾員の方々だと回答した。これに対して山田は、どなたかに大学に来てもらってお礼として渡すというのは聞いたことがあるが、自ら出向いて行って手土産を渡すのはいいことなのかという疑問を投げかけた。これに対して福利厚生機関本部代表 松尾和真は、今回は現役生が手土産の持参を断ることは難しかったと述べられ、今後同じことがあった場合は個人が負担すればいいのかと質問した。これに対して後藤は、特別支出が承認されなかったときに個人が負担するのは疑問が残るので、団体としてその支出の必要性を確認したのだから団体として支出するべきだと回答した。そこで山田は、団体として手土産を渡すという行為は、その団体の利益とはなるが、塾生の福利厚生となるかは疑問が残ると指摘した。そのうえで、今回はまれなケースであったため議員の反対がなければ承認をするが、今後は前述のような懸念点を考慮してほしいと求めた。

ここで中島より、申請額の修正の申し出があった。交通費の4つ目の申請について、3,300円から2,720円に修正する旨が伝えられた。

全塾協議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表 山田健太は本決議を承認した。

#### (16) 應援指導部の交付金特別支出承認申請

應援指導部より交付金特別支出承認申請が上程された。

	許可金額	申請時期	品名	支出理由	支出時期
1	¥1,400	事後	駐車場代	第86回早慶バレーボール定期戦におけるレンタカーの外部駐車場代	2022年7月31日

應援指導部会計 中島由菜は、先月の定例会にて指摘を受けた、事後申請にもかかわらず金額がはっきりしていなかった件で、8月分の繰り越し分1,400円を今回報告できるので、事後申請だが承認してほしいと説明した。

議案資料に対して、塾生代表 山田健太から、最大料金というのは最大料金分だけかかったという認識であっているかと質問があがった。これに対して中島は肯定した。また山田から、ガソリン代の申請はないかと質問があがった。これに対して中島は、ガソリン代に関しては本部会計にて一括で関することになり記載していないと回答した。

全塾協議会はこれを賛成多数で可決し、塾生代表 山田健太は本決議を承認した。その際山田は、議案資料に最大料金分かかった場合にはその旨を補足の欄に記載するよう求めた。

#### (17) 塾生代表の所属団体に関する議案

塾生代表 山田健太より、所属団体に関する議案が上程された。全塾協議会所属団体の「應援指導部」に2022年8月期定例会時点で下されている処分に関して、2020年1月31日に開催された全塾協議会臨時会にて可決された処分第4項に基づき、第2項を全面的に破棄することを提案した。その背景について、次のように説明した。

かねてより対外活動の責任者として活動してきた方に、2019年の不祥事について対応していただいた。6月期定例会でも報告があった通り、應援指導部のHPに今後の方針を記載していただいているが、そのHPによると、今後に関してはリーダー部を解散するという事になっている。現状としては、参考資料の通り、2020年1月期全塾協議会臨時会で決定した処分の2番項に関しては、一部緩和または全面的に破棄するとの条件をつけていた。宿泊活動を禁止していたが、かねてから色々な議論を重ねてきたので、今日問題ないとわかれば、宿泊活動を許可したいと思う。まだ十分に反省が足りないという意見もあるため、定例会での報告もしてほしいが、毎月議会でこのことに時間を使うことには疑問が残る。報告書を提出していただいて、そこで事前に議員に共有し、その内容で問題がなければ議場としては取り扱わないことにし、問題があれば議場で話し合うことにすべきである。体制に関しても一部古いものがあるのではないかと声もあるので、問題が大いにあるようであれば対処してほしい。また、宿泊活動で本当の意味で問題が起こらないかどうかは、やってみないとわからない。そのため、ある意味これから先で活動していく上で、合宿で問題が起こらないかどうかを確かめる機会が必要である。なお処分の他の項目

に関しては、引き続き継続していくことにする。

これに対して福利厚生機関本部代表 松尾和真は山田の提案に賛成し、最近では排他的なイメージであった應援指導部が塾生に貢献する団体として動いているので、体勢はかなり変わってきたと言えるものの、処分が終わったというわけではないので、引き続き報告書等を出して監視の目を強めていくべきだと述べた。そこで山田は次のように述べた。

もしまた問題が起こってしまった場合は即解散となる可能性が高い。全塾協議会は一定の公的な立場として、事実がどう映るかも含めて対応する。もし問題があるというふうに捉えられてしまったら、仮にそれが事実と異なるとしても、対応しなければならないし、多くの塾員からの反感を買うようなことがあれば、考慮しなければならない。多くの方から誤解を招くようなことがあれば、解散に近い形を取らなければならないし、むしろそれをやった上で誤解を招かないような対応を取らなければならない。ただし、一定層から多くの反対を受けると思われるが、それが應援指導部全体の問題なのか、それともまた別の問題なのかについては、学生部とも連携しながら対応していきたい。処分解除に関して反対意見が届いている時点で問題があると思う。全塾協議会が本当に 2,000 万円の金額を背負ってもいいのか、という意見があるのも、同じく問題があると思う。

これに対して應援指導部三将の一人である齋藤英里伽は、應援指導部による不適切な行為で、塾生全体に多大なる迷惑をかけたことを謝罪した。そのうえで、應援指導部は 3 年間体制の整備に注力してきたので、もし処分の解除をしていただけるなら塾生にさらなる誠意を見せていきたいと述べた。

全塾協議会はこれを賛成多数で可決し、塾生代表 山田健太は本決議を承認した。その際山田は今後の対応として、9 月 5 日までに 8 月分の活動報告をまとめて報告すること、9 月分に関しては 10 月 5 日までに、今回の処分緩和を受けて何を新たに行い、それに対してどのような反響があったのかという内容を加えて報告すること、10 月分以降に関しては今までと同様に次の月の 5 日までに書面で報告することを求めた。

#### (18) 塾生代表の緊急執行に関する議案

塾生代表 山田健太より、緊急執行に関する議案が上程された。山田は、芝学友会の Web サイトのノーコードツールを緊急で承認したと報告した。また、サービス名は Wix で、支出金額は 11,880 円であることを説明した。その経緯について、サーバ費用とドメイン費用が支払われているのに Web ページが存在しないという状況であり、9 月中に Web サイトを復活させるためであったと説明した。

全塾協議会はこれを賛成多数で可決し、塾生代表 山田健太は本決議を承認した。

#### (19) 塾生代表の緊急執行に関する議案

塾生代表 山田健太より緊急執行に関する議案が上程されたが、山田は本議案を取り下げた。

#### (20) 塾生代表のコミュニケーションツール Slack の導入に関する議案

塾生代表 山田健太よりコミュニケーションツール Slack の導入に関する議案が上程された。山田は、全塾協議会のコミュニケーションツールとして今月 31 日までに Slack を導入することを提案した。その背景について、山田は次のように説明した。

管理がしやすいという点を評価して、Slack でもう少しやりとりできるようにしたい。想定されるメリットは、全塾協議会の横のつながりを生み出せることである。全塾協議会の横のつながりが弱いという認識があり、改善の余地がある。費用面については、全塾協議会所属団体の代表および財務の方の分の費用などで年間で数万円となる。また、導入を今月 31 日まで行いたい理由は、翌月 1 日より料金が上がるためである。なお、Slack 導入に際して必要な費用は事務局に結び付けることにし、負担の方法は後ほど検討することにする。

これに対して全塾ゼミナール委員会委員長 三河創太から、所属団体の代表および財務は全員参加する前提なのかと質問があがった。これに対して山田は、登記されている方全員にメールで招待し、参加自体は 9 月になると回答した。さらに三河から、個人で契約する必要があるのかと質問があがった。これに対して山田は、Slack はワークスペースごとに契約する必要があると回答し、学生部との連携についても Slack に落とし込んでいきたいと述べた。

ここで事務局長 後藤美汐から、支出は新規事業としてではなく、現在の全塾協議会事務局の口座から引き落とすことかと質問があがった。これに対して山田は、どちらでも構わないと回答した。それに対して後藤は、新規事業として支出する場合、申請書を作成しなければならず、それを残り 3 日で行い承認をとって支払いを行うのは事務局の代表として厳しいとし、どちらかという事務局の口座から引き落とす方が楽だが、処理としては疑問があると指摘した。これに対して山田は、所属団体も予算の執行権は塾生代表にあるので、約 90,000 円の支出を執行権を用いて利用することに問題はないと考えており、新規事業への理解について決は取ってはいないが 2 回ほど確認しているため、新規事業に関しては切る予定はないと述べた。そのうえで、事務局の予算に関しては補正予算を事務局長と検討することにし、こういう事態のために繰越金を用意してもらっていると述べた。

全塾協議会はこれを賛成多数で可決し、塾生代表 山田健太は本決議を承認した。

## (21) 塾生代表の交代関連手続きの基本方針に関する議案

塾生代表 山田健太より、交代関連手続きの基本方針に関する議案が上程された。山田はその背景について、次のように説明した。

現状のルールとして、所属団体は塾生代表の承認が必要だが、上部団体は承認が不要である。このルールの背景は、議員の交代を塾生代表が承認しないということができてしまうと、現在議員の方が卒業した際に、誰もその団体の権限を行使できなくなってしまうことにある。そこで、所属団体の交代手続きや議員の交代のフローの方針を決定したい。現状、交代承認申請は誰が出してもよくなっているが、そのため交代が 2 ヶ月ほど経ってから報告があることもある。実際には、交代承認が正式に降りるまでは代表を変えてはならず対外に対して代表を名乗ることはできないはずである。そのため、代表として書類を出せるのは旧代表のみである。表記上の問題ではあるが、このあたりが曖昧になっている。そこで、全塾協議会の規約規則に基づき、交代には塾生代表の承認が必須であり、承認が下りるまでは新任者が役職の権限を利用することはできないということを明白にしたい。万が一そういったケースが存在した場合は、処分というような形を取りたい。なお、承認するのが塾生代表になっている理由は、議会は 1 ヶ月に 1 度しかないので、フレキシブルに対応できるようにするためである。また、万一代表が亡くなった場合に関しては、新任者が新しい役職で名乗ってはいけなくて、団体または旧役職として提出するのであれば問題ない。とにかく、実態的に代表を勝手に変えてはいけなくて

いうことを明記しておきたいということである。

全塾協議会はこれを賛成多数で可決し、塾生代表 山田健太は本決議を承認した。

## (22) 塾生代表の全塾協議会規約ならびに諸規則改正に向けた基本方針に関する議案

塾生代表 山田健太より、全塾協議会規約ならびに諸規則改正に向けた基本方針に関する議案が上程された。山田は、リーダーズキャンプ後の9月中にミーティングを4回開催し、そのうち少なくとも1回は所属団体関係者を含めた議員が出席し、その後公聴会を実施したのち、議会にて規約規則を改正していくという方針を提案した。

全塾協議会はこれを賛成多数で可決し、塾生代表 山田健太は本決議を承認した。

## (23) 塾生代表の全塾協議会定例会の日程の固定に関する議案

塾生代表 山田健太より、全塾協議会定例会の日程の固定に関する議案が上程された。山田は、議会の日程は決まっていた方が予定を開けやすく、参加できない人が多い場合には日程調整を実施するという方針を提案した。

全塾ゼミナール委員会委員長 三河創太は、日程の固定化については賛成で、日程は何週目の何曜日、という形式で固定化すればよいと述べた。それに対して山田から、何曜日がよいかと質問があがった。これに対して三河は、土曜日がよいだろうと回答した。文化団体連盟三田本部常任委員会委員長代理 関義暉は、代理なので曜日は決定しかねると述べた。体育会本部主幹代理 田村秀章は、代理なので曜日は決定しかねるが、土曜日には体育会の試合が入ることが多いと述べた。全国慶應学生会連盟常任委員会委員長 東條克哉は、地方出身の人が多いため帰省の時期を考慮して12月末は開けてほしいと述べた。これに対して山田は、塾生代表の交代の必要が生じるため12月末に議会は開催しないと述べた。芝学友会会長 横山さくらは、1年生が火曜日に芝共立キャンパスで学友会の活動を行っているため、火曜日は避けてほしい点、平日の遅い時間は必修の授業カリキュラムによる点を伝えた。ここで田村は、体育会の部活は月初めに予定が決まるので、曜日を固定されても参加できない可能性が高い点、体育会の代表が参加する試合が多い点を補足した。四谷自治会会長 藤村悠哉は、曜日を固定しても参加率は変化しない点、曜日を固定化するなら月曜日、水曜日、金曜日をできるだけ避け、土曜日にしてほしい点を伝えた。

ここで山田は、日程固定は1日に絞るのではなくて第3希望まで出しておくのもよいのではないかと提案した。また、開催キャンパスも分散させるべきであり、たとえば1年間のうち4回は日吉キャンパスおよび矢上キャンパス、4回は三田キャンパス、2回は湘南藤沢キャンパス、2回は芝共立キャンパスまたは信濃町キャンパスというようにすることも提案した。

## 8. 連絡事項

議事部長 大澤治香より次回全塾協議会について、日程は決まり次第後日連絡すると伝えられた。また塾生代表 山田健太より、規約規則改正に関するミーティングについては日程調整して連絡する点、初回ミーティングは翌週中に実施する予定である点、議員には自団体の役割について審議してほしい点を伝えられた。



## 9. 閉会宣言

事務局長 後藤美汐が閉会を宣言し、15:00 に閉会した。